

令和 8 年 8 月 1 7 日	次期一般廃棄物処理施設 整備調査特別委員会
市民環境部新ごみ処理施設整備準備室 資料 No1	

次期一般廃棄物処理の在り方に係る再検討について

1. 再検討の経緯

(一体型施設整備費用の増加予想)

物価動向や他団体の入札実績などを加味。建設費用が急増していること確認
物価高騰の収束時期の見通しが困難。今後も増加傾向が進むことを懸念

単位：百万円

	基本構想策定時 (R5.3月以前)	交付金事前協議時 (R6.9月時点)
可燃ごみ処理施設 (39 t / 日)	6,290	9,009
不燃ごみ処理施設 (17 t / 日)	3,550	5,808
最終処分場 (30,450m ³)	2,380	3,234
合計	12,220	18,051

(再検討の決定)

- 令和 7 年 3 月 首長会にて課題提起 → 4 月会議にて再検討の必要性を確認
- 令和 7 年 5 月 教育民生常任委員会、全員協議会にて説明
- 令和 7 年 6 月 施政方針において、再検討を行うこと表明

(再検討過程)

○基礎資料の作成 (令和 7 年度中)

- ・施設整備費用の再算定
- ・処理委託に必要な経費の算出
- ・有効な代替策の検討

○3市町による検討 (令和 8 年度)

- ・基礎資料に基づき、次期一般廃棄物処理に係る在り方を 3 市町それぞれで整理

2. 再検討結果(施設整備費の再算定結果など)

(必要経費の比較結果)

A. 施設整備に要する経費

①総事業費

単位：百万円

	施設整備	改修	新設・改修
可燃ごみ処理施設	8,617	299	4,470
不燃ごみ処理施設	4,863		
最終処分場	3,212		
敷地造成費	3,625		上記に含む
周辺インフラ整備費	398		上記に含む
合計	20,715	299	4,470

改修：全量処理委託 / 既存施設を中継施設として改修（雲南 EC、仁多 KC）
新設・改修：全量処理委託 / 可燃ごみ中継施設を新設し、仁多 KC を改修

②財源構成

単位：百万円

	施設整備	改修	新設・改修
交 付 金	5,349	31	1,196
起 債（過疎債）	14,578	255	3,107
一 般 財 源	788	13	167
合 計	20,715	299	4,470

※交付金の交付率、起債の充当率が変化した場合、金額が大きい施設整備については、影響を受けやすい

③備考(処理委託経費の算出過程)

- ・「処理委託の対象範囲」「施設の改修、新設」「外部搬出を行う施設」の組み合わせによる12パターンごとの必要経費を算出
- ・考察の結果、上記の2パターンを有効パターンとしている

B. 施設運営に要する経費(30年間でかかる経費)

単位：百万円

	施設整備	改修	新設・改修
維 持 管 理 費	18,485	5,704	9,438
収 集 運 搬 費	6,555	8,702	8,143
処 理 委 託 費	—	11,600	9,600
合 計	25,040	26,006	27,181

※施設整備について、処理機能を有する高度な施設となるため、大規模修繕等の費用が別途かかる可能性が高い

C. 総括比較

A. 施設整備に要する経費 と B. 施設運営に要する経費（30年間でかかる経費）について、実負担額に基づく集計を実施。経済的優位性の判断したところ

(実負担額)

単位：百万円

	施設整備	改修	新設・改修
施設整備費	7,242	105	1,544
一般財源	788	13	167
起債償還額（3割）	6,454	92	1,377
参考：起債償還額（7割）	15,061	213	3,208
施設運営費	25,040	26,006	27,181
合計	32,282	26,111	28,725
うち 雲南市	19,865	16,660	18,541
うち 奥出雲町	7,904	6,474	6,659
うち 飯南町	4,493	2,977	3,525

(特別委員会等への説明)

令和8年2月	再算定等に係る中間結果報告
5月	再算定等に係る結果報告
6月	再算定結果に基づく当市の整理状況説明
7月	市政懇談会での市民説明
8月	3日／市政懇談会の状況報告

3. 市政懇談会での市民説明

(市政懇談会概要)

テーマ：将来を見据えた今後の施設整備の進め方

開催日等：

開催日	開催地域（会場）	参加者数
7月3日（金）	大東町（大東地域交流センター）	37名
7月6日（月）	掛合町（掛合交流センター）	35名
7月9日（木）	木次町（木次総合センター）	26名
7月14日（火）	吉田町（吉田健康福祉センター）	21名
7月22日（水）	加茂町（加茂交流センター）	32名
7月28日（火）	三刀屋町（三刀屋交流センター）	40名

(意見要旨)

区分	内容	件数
処理委託の推奨	経費削減 → 他事業を実施する必要性 用地確保の困難さ	51件 35.7%
不安	民間事業者に対する懸念 ・受容能力 ・不慮の撤退等 ・料金のつり上げ ・住民負担の増加 サービスの低下 ・持込対応 ・収集回数の減少 一般廃棄物処理の持続可能性 ・人口減少	28件 19.6%
分別	分かりやすい分別方法 ・簡潔さ ・高齢化への対応	6件 4.2%
更なる広域化	雲南市の負担拡大への懸念 つなぎ措置としての処理委託	6件 4.2%
資源化・エネルギー化	資源化 ・ペットボトルや段ボール エネルギー化 ・熱源利用（サーマルリサイクル）	5件 3.5%
その他	現行施設の活用など 早期の方針決定 ごみの減量化 処理料金の改定	47件 32.9%

4. 次期一般廃棄物処理の在り方に係る当市の考え

- 施設整備については、昨今の情勢にも鑑み行わない
- より効果的・安定的な処理委託方式の実施に向け、具体的な検討を行う

5. 今後のスケジュール

(地元折衝)

○三代連合自治会

- ・7月10日時点の現状については、既に説明済み
- ・今後、逐次情報提供を図る
- ・現地調査に関する説明

○その他の周辺自治会

- ・対象範囲と時期を見極めながら、説明を実施

(2町との調整)

- ・雲南市の状況について、速やかに共有
- ・首長会を開催し、今後の進め方を調整
- ・適宜の議会説明

(予算措置)

- ・上記の進捗に鑑みながら、適期に必要な予算措置を行う